

## 園児の体温が高めになったときのご判断について

\_\_\_\_\_ 保育園の先生がたへ （保育園名は保護者が記入してください）

園児氏名（保護者記入） \_\_\_\_\_

星川小児クリニック 山本 淳

園児が、例えば37.5℃以上の体温になったときのお考え方についてご説明します。これは、上記園児に限ったことではなく、一般的な対応としてご説明します。以下の説明はご家庭で保護者がお子さまを観察する際の基本的なポイントとほとんど同じようなことなので、今さらと思われるかもしれませんが、園児が高体温であることの証明書（診断書）を当院で発行できないため、代わりに文書にいたしました。

ご存じのように、幼児の体温は、成人よりもやや高いほか、体重当たりの体表面積が広いために、環境温の影響を受けやすいという特徴があります。また背も低いので、夏場などですと地表温があがるため、その影響はさらに受けやすくなります。

また、児童の体調は、体温だけで決めるのではなく、食欲や元気さなどを参考にして総合的に判断するものであることは、言うまでもありません。

もちろん、37.5℃を保育園がひとつの目安にすること自体は特におかしいことはありません。37.5℃を境界にして考えますと、37.5℃以上の園児には病気であるお子さんがいる確率はやや高くなるでしょうし、逆に37.5℃未満の園児には病気であるお子さんが少ないのは当然だと思います。

しかし、体温だけでは体調はわかりません。それまでのお子さんの様子、特に食欲や機嫌も考慮して判断されるとよろしいかと思えます。また、クラス内での感染症の流行状況なども、保育園であればこそ、参考になるかと思えます。

また、園児による差ですが、平熱の差ももちろんあるかと思えます。しかし、特にかかりつけ医といってもそこまでは把握しておりません。気になるようでしたら、元気なときに時々測定して把握されるとよろしいかと思えます。

体温が高くなってきたときに、保護者の方にご連絡する基準ですが、もちろん体温計に表示された数字がある程度の目安にはなりますが、お迎えを急いでもらうべきか、それほどこでもないが一応連絡をしておいたほうが良いか、全く急ぐ状況ではないが念のための連絡なのか、保護者の方によく伝わるようお願いできればと思います。もちろん連絡をする必要がなくもう少し様子を見るという選択もあるかと思えます。それは保育園でその都度ご判断ください。

以上、特に保育園の先生がたにこちらからご指示申し上げるような事項ではない部分もあるかと思えますが、診断書（あるいは意見書のようなもの）をご希望ということでしたので、このような形で、特定の個人の対応としてではなく、一般的な対応をお示しする文書としてお示ししました。そのため、どなたでもダウンロードして園児氏名などを記入していただけるようにしてありますことをご了承ください。

今後ともよろしくお願い申し上げます。